

【資料１】金利指標をめぐる各国および国際的な動向

—— シャドー部分は今後実施予定の事項

【英国】（WG 会合は 1～2 か月に 1 回程度開催）

2017 年	4 月	SONIA を RFR に特定
	7 月 27 日	FCA ベイリー長官が、2021 年末以降は、LIBOR 維持のためにパネル行にレート呈示を強制する権限の行使は行わない旨を表明
	11 月 24 日	FCA が、各通貨の LIBOR パネル行と交渉した結果、20 行が 2021 年末まで自主的にレートを呈示することに合意した旨を公表
2018 年	1 月	再編された WG が始動 — シ・ローンおよび債券に関する SG を新設
	3 月 14 日	FCA が、LIBOR のパネル行に対しレート呈示を強制する権限に関するポリシーペーパーを公表 — 代替指標への移行進捗により、2021 年末において同権限の行使は不要となるとの立場を表明
	3 月 17 日	IBA が、LIBOR のウォーターフォール構造 ^(注) に関する検証結果を公表
	3 月 28 日	WG 会合 — コミュニケーション・教育・アウトリーチおよび SONIA への移行状況を把握するための基準の構築に係る SG の新設を合意
	4 月 23 日	・ BOE が、SONIA 改革を完了 ・ LCH が、改革後の SONIA 参照 OIS を清算対象に指定
	4 月 25 日	IBA が、報告書（ICE LIBOR Evolution）を公表 — LIBOR のウォーターフォール構造の導入完了時期を「2018 年中」→「2019 年第 1 四半期まで」に先送り — 2022 年末以降も LIBOR を存続させることを検討するが、全ての通貨・テナーを維持するとは限らない旨表明
	4 月 30 日	LSE が、SONIA を参照する 3 か月先物を上場
	6 月 1 日	ICE が、SONIA を参照する 3 か月先物を上場
	6 月 22 日	欧州投資銀行（EIB）が、SONIA を参照する 5 年の変動利付債を発行
	7 月 17 日	WG が、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議文書を公表〔コメント期限：10 月 26 日〕 — ターム物金利は、OIS 市場の確約気配値を基に構築することが適当との WG の結論を提示
	7 月 23 日	WG が、LIBOR を参照する新発債に関するペーパーを公表 — 発行体・アレンジャー・投資家（債権者）が LIBOR を参照するポンド建ての新発債が抱える潜在的なリスクを認識し、必要な準備と対応策を講じることに資する観点から、標記ペーパーを公表

	7月25日	BOE が、SONIA の IOSCO 原則への適合状況に関する文書を公表
	8月20日	WG 会合 — 市場インフラに関する SG の設置について発表 — WG 議長および副議長が米国 ARRC 傘下に設置された Cross-Currency Basis Swap Subgroup に出席した旨を報告 — IASB 宛に、LIBOR からの移行に関する調査プロジェクトの立ち上げを歓迎し、移行に伴う会計上の問題に関して IASB と緊密に連携する旨を表明するレターを送付することについて合意
	9月19日	PRA と FCA が、主要な銀行および保険会社の経営陣に対して、LIBOR の公表停止によって生ずる主要なリスクの評価と代替指標への移行に向けた具体的な計画の策定を求めるレター（Dear CEO レター）を発出〔回答期限：12月14日〕
	9月21日	WG 会合 — 債券 SG が O/N SONIA 複利を参照するための市場慣行についての市中協議文書を起案中（シ・ローン SG も参加） — シ・ローン SG が 2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照ローンを取引することに伴うリスクに関するペーパーを起案中
	10月1日	CME が、SONIA を参照する先物（Quarterly IMM/MPC）を上場
	10月10日	IBA が、先物金利を用いた SONIA に基づくターム物金利算出方法等に係る報告書を公表
	10月16日	WG が、新規のシ・ローン契約等における代替指標への移行を容易化するための条項の雛形（LMA 作成）を公表
	11月23日	WG が、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議の結果の概要を公表 — ターム物金利は、貸出等の一部商品については SONIA への移行を促す上で有用であるものの、デリバティブにおける利用については、SONIA を直接参照する OIS 取引等の減少に繋がらないよう制限されるべきとの意見が多数 — OIS 市場を基にターム物金利を構築する方向性は支持されたが、OIS 市場の参加者の増加・多様化による流動性向上が必要であるとの意見や、代替的手法として先物市場のデータを補完的に活用することを支持する意見が多数
	12月14日	ロイズ・バンキング・グループが、SONIA を参照する証券化商品（住宅ローン債権担保证券）を組成・販売
	12月20日	・インフラ・システムに関するワークストリームが、暫定的な優先順位リストを公表 ・LCH が、ISDA による IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議の結果を踏まえた今後のデリバティブ商品の清算に係る方針について発表
	12月21日	WG が、新規および既存の貸出契約に関するペーパーを公表 — LIBOR を参照するポンド建ての新規および既存の貸出契約の関係者が、潜在的なリスクを認識し、必要な準備と対応策を講じることに資する観点から、標記ペーパーを公表
	12月24日	WG が、SONIA を参照するターム物金利に関する市中協議の結果を踏まえた今後のステップについて公表 — 現在のターム物 LIBOR 利用者の多くにとっては、キャッシュ商品を含め SONIA を直接参照する金利の方が、SONIA を参照するターム物金利より適切であるとし、ターム物金利の構築状況に拘らず、可能な限り LIBOR からの移行を進めることを勧奨
2019 年	1月31日	WG が、インフラに関するフォーラムを開催

3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・WGが、IASBに発出したレターを公表 <ul style="list-style-type: none"> — IASBによる金利指標改革に伴う基準設定作業を歓迎し、IASBを支援する意思を表明するとともに、早期に作業を進めることを支持 ・WGが、SONIAを参照する新規契約の慣行に関するディスカッションペーパーを公表〔コメント期限：4月30日〕 <ul style="list-style-type: none"> — SONIA参照商品の市場慣行についての市場参加者の認識を向上させることを通じ、市場における流動性の分断を回避し、商品間のミスマッチを最小化するとともに、システム変更を後押しするため、標記ペーパーを公表
3月20日	<p>WG会合</p> <ul style="list-style-type: none"> — ターム物金利、規制上の依存、会計上の取扱い、および法的問題についてそれぞれTFが活動開始した旨を報告
5月15日	<p>BOEが、WGを代理して、ポンド市場におけるSONIAの利用の進捗に係る声明を公表</p> <ul style="list-style-type: none"> — FTSEラッセル、IBA、リフィニティブの3社がSONIAを参照するターム物金利の構築に向けて取り組んでいる旨を記載
6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・BOEおよびFCAが、パネルディスカッション形式のイベントを共同開催 ・PRAとFCAが、主要な銀行および保険会社の経営陣宛に発出したレター（Dear CEOレター）への対応について、テーマ別の結果を公表 <ul style="list-style-type: none"> — LIBORを利用する全ての企業に対して移行に向けた取組みを慫慂
6月11日	<p>Associated British Ports社の傘下企業が、一部の既発債の社債権者集会を開催し、当該社債の参照金利をLIBORからSONIAに切り替えることを決議</p>
6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・BOEが、オペにおいて受け入れるLIBOR参照担保に対するリスク管理アプローチの市中協議文書を公表〔コメント期限：9月27日〕 <ul style="list-style-type: none"> — BOEハウザー理事の講演において、上記市中協議文書が紹介されるとともに、英国政府の外貨準備のヘッジにおいて期日が2021年末をまたぐLIBOR参照スワップの利用を停止する方針が決定された旨に言及
7月2日	<p>ナットウエストが、National Express社に対し、SONIA（後決め複利）を参照するローン商品を提供した旨を発表</p>
7月3日	<p>WG会合</p> <ul style="list-style-type: none"> — ターム物金利の利用場面について、詳細に評価 — ヘッジ会計上の論点についてIFRS9およびIAS39を改訂する公開草案に対して、IASB宛レターを発出した旨を報告
7月9日	<p>WGが、欧州保険・企業年金監督局（EIOPA）のChairmanに対して、保険負債の割引率をRFRベースに移行するために必要な規制対応を求めるレターを発出</p>
7月15日	<p>FCAのベイリー長官が、2021年以降のLIBOR公表停止をメインシナリオとして想定しておくべきと発言</p>
8月	<p>WGが、3月に公表した新規契約の慣行に関するディスカッションペーパーのコメントの取り纏め結果を公表。これと同時に、貸出の事務処理に関するワーキングペーパーを公表</p>
9月17日	<p>WGが、WGの検討内容および目的を達成できるようにサポートする組織として、シニア・アドバイザー・グループを設置</p>

		— WG に対して戦略的なサポートを行うと共に、企業の幹部クラスを SONIA への移行に積極的に関与させることを目指すもの
	10 月 23 日	WG が、規制上の論点について公的部門宛にレターを発出
	11 月	WG が、タフレガシーに係る問題、キャッシュ商品におけるレガシー契約の移行に係る問題、新規貸出における英ポンド LIBOR 使用停止に係る問題を検討する 3 つのタスクフォースを設立
	12 月	WG が、英ポンド LIBOR を参照するキャッシュ商品のフォールバックのスプレッド調整に関する市中協議を開始
	12 月 16 日	BOE が、金融システム政策委員会において、LIBOR 参照契約の残高を 2021 年末までに極力削減するために採りうる監督上のツールについて検討中である旨に言及
2020 年	1 月 16 日	ICE が、SONIA を参照する ICE Swap Rate に関する市中協議を開始（コメント期限：3 月 20 日）
	1 月 23 日	WG が、貸出管理システムおよび財務管理システムの提供事業者向けのワークショップを開催
	1 月 24・31 日	機関投資家セクターの実務担当者向けにラウンドテーブルを開催
	1 月	WG、BOE、および FCA が、2020 年の優先取り組み課題等を公表 <ul style="list-style-type: none"> — WG が 2020 年の優先取り組み課題およびロードマップを公表 — FCA と BOE (PRA) が、主要銀行、保険会社の幹部宛にレターを発出 — FCA と BOE が、3 月 2 日以降の新規の英ポンドの金利スワップに係る市場慣行の転換に関するステートメントを公表 — WG が、SONIA 複利・ターム SONIA・他の代替金利指標の使い分けに関するディスカッションペーパーを公表 — WG が、英ポンド LIBOR 参照のレガシー社債について、社債権者の同意取得による SONIA への移行に関する検討ペーパーを公表 — WG、BOE、FCA、ACT および CBI が、エンドユーザー向けのファクトシートを公表
	1 月 27 日	LCH が、ルールブックへの公表停止前トリガーの導入に関する市中協議を開始（3 月 23 日締切）
	1 月 28 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — ターム物 SONIA のベータ版にかかるテストの実施予定等について議論
	2 月	WG が、スワップション、キャップ、フロア等のデリバティブ取引に携わる市場参加者に対するサーベイ結果を公表
	2 月 21 日	ICE が、SONIA を参照する ICE Swap Rate に関する追加の市中協議を開始（当初締切：4 月 6 日、延長後締切：5 月 22 日）
	2 月 26 日	・ BOE が、2020 年 7 月以降の SONIA compounded index の日次公表に関するディスカッションペーパーを公表 ・ BOE が、オペにおいて受け入れる LIBOR 参照担保の取扱いに関する Market Notice を公表 <ul style="list-style-type: none"> — 2020 年 10 月以降、2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照担保について順次ヘアカット率を引き上げ、2021 年 12 月 31 日以降は 100%とすることを表明
	2 月 27 日	FCA が資産管理会社向けの Dear CEO レターを発出
	3 月 9 日	・ WG が、2 月 26 日公表の BOE の SONIA Compounded Index に関するディスカッションペーパーを支持するステートメントを公表 ・ WG の Loan Enablers Task Force が、LIBOR を参照する貸出の停止（20 年 3Q）に向けたロードマップを公表

	・BOE と FCA が、trade associations（事業法人）宛てに書面を発出。LIBOR からの移行が associations のメンバーやその債権者に与える影響や、必要な準備等を伝達
3 月 11 日	FCA が LIBOR の公表停止・代表性喪失に係る事前のアナウンス方法を公表
3 月 19 日	歳入関税庁（HMRC）が、LIBOR 移行の税金への影響に関する市中協議を開始（5/28 日締切）
3 月 23 日	WG が、英ポンド LIBOR を参照するキャッシュ商品のフォールバックのスプレッド調整に関する市中協議結果を公表 — 公表停止トリガー・公表停止前トリガーともに、過去 5 年のスプレッド中央値が支持
3 月 25 日	FCA・BOE・WG が連名で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けたステートメントを公表 — LIBOR からの移行対応にあたり、2021 年末以降の LIBOR の公表継続を期待してはならず、期日を順守すべきであるとの大前提に変更はない旨表明
4 月 29 日	FCA・BOE・WG が連名で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた追加のステートメントを公表 — 2020 年 3Q 末までとの新規発行停止の期限を設けていたキャッシュ商品のうち、貸出については、2021 年 1Q 末まで期限を延長することを表明
5 月 7 日	・BOE が、オペにおいて受け入れる LIBOR 参照担保の取扱いに関する Market Notice を公表 — 2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照担保に関するヘアカット率の引き上げの開始時期を 2020 年 10 月から 2021 年 4 月に後ろ倒し（2021 年 12 月 31 日以降 100%とする点是不変） ・PRA と FCA が、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて停止していた LIBOR 移行対応にかかるデータ徴求や監督先との面談について、6 月以降、監督業務を再開する方針を公表
5 月 29 日	WG が、2021 年末までの移行やフォールバック対応が困難な既存契約（タフレガシー）にかかる課題に関するペーパーを公表
6 月 23 日	WG 会合
6 月 23 日	英国政府および FCA が、LIBOR からの移行対応にかかる立法措置に関するステートメントを公表
6～7 月	FTSE Russell、ICE および Refinitiv が、SONIA を参照するターム物金利の参考値の公表を開始
8 月 3 日	BOE が、SONIA Compounded Index の日次公表を開始
9 月 1 日	WG が、貸出において推奨する SONIA 複利（後決め）のコンベンションを公表
9 月 10 日	WG が、貸出および債券におけるスプレッド調整に関する推奨内容を正式公表
9 月 28 日	FCA と BOE が、インターディーラー間の金利スワップ市場における市場慣行として、2020 年 10 月 27 日より、SONIA ベースの気配値呈示に移行するよう求めるステートメントを公表
10 月 5 日	ICE が、SONIA を参照する ICE Swap Rate（ベータ版）の公表を開始
10 月 9 日	FCA・BOE・WG が連名で、10/9 日付の ISDA 声明（プロトコル等について、10 月 23 日に批准を開始し、2021 年 1 月 25 日に発効する旨を公表）を支持するステートメントを公表

	10 月 21 日	英国政府は、LIBOR からの移行対応にかかる立法措置に関する法案を国会に提出
	3Q	・ SONIA を参照するターム物金利（暫定値）の公表を開始・ 期日が 2021 年末を超える新規の英ポンド LIBOR 参照商品の発行を停止（除く貸出）
2021 年	1Q	・ 期日が 2021 年末を超える新規の英ポンド LIBOR 参照貸出の実行を停止 ・ LIBOR を参照する契約残高が顕著に減少

（注）より実取引に依拠したレートであることを確保するため、呈示レートの決定根拠について優先順位を設け、順位の高いものから使用していく手法。

LIBOR では、実取引（レベル 1）、実取引に基づく推計値（レベル 2）、専門家判断（レベル 3）の 3 段階でレートを決定。

【EU】（WG 会合は 2 か月に 1 回程度開催）

2018 年	2 月 2 日	WG 設置を公表
	2 月	EMMI が、EONIA の改革を断念
	3 月 15 日	ECB が、無担保翌日物金利（€STR）の第二次市中協議文書を公表〔コメント期限：4 月 20 日〕
	3 月 26 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第一次市中協議文書を公表〔コメント期限：5 月 15 日〕
	5 月	ECB が、€STR の第二次市中協議に係る結果を取りまとめ
	6 月 21 日	WG が、RFR の候補に係る市中協議文書を公表〔コメント期限：7 月 13 日〕 — 候補は、①€STR、②GC レポレート（GC Pooling Deferred）、③レポレート（RepoFunds Rate）
	6 月 28 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第一次市中協議の結果を公表
	7 月 11 日	WG 会合 — EONIA からの移行に係る SG の設置を決定
	8 月	RFR の候補に係る市中協議で寄せられたコメントについて公表 — 66 の回答先のうち、58 が€STR が RFR として最適と回答
	9 月 13 日	WG 会合 — €STR を RFR に特定 — SG が、RFR に基づくターム物金利の選択肢のプロコンを整理
	10 月 17 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第二次市中協議文書を公表〔コメント期限：11 月 30 日〕
	10 月 18 日	WG 会合 — WG が、EU 共同立法者に対し、クリティカルベンチマークに関して、EU ベンチマーク規則上の移行期限を 2 年間延長すること等を要望した旨報告 — ターム物金利につき、市中協議の実施に向け、検討の焦点を OIS の気配値ベースと先物ベースに絞ることを決定 — Composite 手法（取引量が閾値以上の場合は、当該実取引を、それ未満の場合は、気配値をデータとして参照する手法）について追加分析することを決定
	11 月 9 日	WG が、アウトリーチのためのラウンドテーブルを開催
	12 月 3 日	EMMI が、EURIBOR の 2W、2M、9M のテナーを廃止（6 月 6 日発表）
	12 月 19 日	・ WG が、EURIBOR のフォールバックとなるターム物€STR の構築に関する市中協議文書を公表〔コメント期限：2 月 1 日〕 — ターム物金利の構築手法としては、OIS 市場の確約気配値に基づく手法が最も妥当である可能性が高いとの結論を提示 ・ WG が、EONIA から€STR への移行に関するレポートを公表〔コメント期限：2 月 1 日〕
2019 年	1 月 21 日	WG が、ユーロ建キャッシュ商品の新規契約に設定するフォールバック条項について、ガイディングプリンシプルを公表

	— 恒久的なトリガー事由の設定、後継金利としての€STR の利用と調整スプレッドの導入、将来的な契約改定を簡便化する条項の導入、商品間の整合性確保等について提案
2 月 12 日	EMMI が、EURIBOR のハイブリッド方式に係る第二次市中協議へのコメントの概要を公表
2 月 25 日	欧州議会と加盟国が、EU ベンチマーク規則上における①EU 域内のクリティカルベンチマークの算出者および②第三国の金融指標に関する規定については、移行期限を 2020 年 1 月 1 日→2021 年 12 月 31 日に延長することを政治合意した旨、欧州委より発表 — 当局権限によるクリティカルベンチマークの呈示強制が可能な期間についても、2 年間から 5 年間に延長
3 月 14 日	WG が、①EONIA から€STR への移行、および、②EURIBOR のフォールバックとなるターム物€STR の構築手法について、勧告を公表 — ターム物€STR の構築について、OIS 市場の確約気配値に基づく手法によることを勧告
3 月 19 日	欧州委が、シンガポールとオーストラリアの金融指標に係る法制度・監督について、EU ベンチマーク規則に基づき、同等性評価を下す旨の決定文書案を公表〔コメント期限：4 月 16 日〕
3 月 20 日	EMMI が、WG の勧告に基づき、€STR への移行に伴う EONIA の調整に関する市中協議を実施〔コメント期限：4 月 15 日〕
5 月 6 日	・ EMMI が、ベルギー当局（FSMA）に対し、EU ベンチマーク規則に基づき、ハイブリッド方式を用いた EURIBOR の運営者として認可を申請 ・ EURIBOR のパネル行が、ハイブリッド方式への移行を開始
5 月 10 日	WG 会合 — WG が、IASB 宛に EONIA から€STR への移行に係る固有の論点を取り上げたレターを発出することを合意
5 月 13 日	WG の傘下に、キャッシュ商品とデリバティブ、財務会計とリスク管理、およびコミュニケーションと教育について、SG を新設 — 既存の SG についても併せて改廃
5 月 15 日	WG が、EONIA から€STR への移行に係る法的アクションプランを公表〔コメント期限：6 月 12 日〕
5 月 31 日	・ EMMI が、€STR への移行に伴う EONIA の調整に関する市中協議に対する意見の概要および実施の詳細を公表 ・ ECB が、WG の勧告に沿って、€STR への移行に伴う EONIA の調整スプレッドを、過去 1 年間の EONIA と€STR の参考値（pre-€STR）との平均スプレッドに基づき、0.085%と算出した旨を公表
6 月 27 日	WG が、EONIA から€STR への移行に係る法的アクションプランに係る市中協議に寄せられたコメントを公表
7 月 2 日	FSMA が、EURIBOR の運営について、EMMI に対してクリティカルベンチマークの運営者としての認可を付与
7 月 3 日	ECB が主要な銀行の CEO 宛にレター（Dear CEO レター）を発出し、2021 年末までの円滑な移行に向けて準備を進めることを勧告
7 月 4 日	ESMA が、EURIBOR につき EU ベンチマーク規則への適合性を認定した旨を公表
7 月 10 日	WG が、€STR に基づくターム物の構築に関心を有する指標運営機関の募集を開始
7 月 15 日	WG が、IASB に対して欧州の金利指標改革に係る会計上の論点について検討を求めるレターを発出
7 月 16 日	WG が、EONIA から€STR への移行に係る法的アクションプランの勧告を公表
7 月 17 日	EMMI が EURIBOR に関する Benchmark Statement を公表

	7月24日	EMMI が EONIA の公表時刻を 9:15 にすることを確定
	8月19日	EONIA から€STR への移行がキャッシュ商品とデリバティブに与える影響について報告したレポートを公表
	9月25日	WG が、アウトリーチのためのラウンドテーブル（第 2 回）を開催
	10月2日	・ ECB が、€STR の日次公表を開始 ・ EONIA が、€STR+調整スプレッドの形に調整
	10月11日	欧州委員会が、欧州ベンチマーク規則の見直しにかかる市中協議を開始
	10月16日	WG 会合 — ターム物€STR の算出・公表の希望先 4 社（EMMI, FTSE Russel, IBA, Refinitiv）がプレゼンテーションを実施
	10月17日	WG が、EONIA から€STR への移行および€STR に基づくフォールバック条項の導入によるリスク管理上の影響に関する報告書を公表
	11月5日	WG が、EONIA から€STR への移行および€STR に基づくフォールバック条項の導入による財務会計上の影響に関する報告書を公表
	11月6日	WG が、EURIBOR を参照するキャッシュ商品およびデリバティブ商品に係るフォールバック条項に関するハイレベルな勧告を公表
	11月12日	WG が、€STR のフォールバック対応に関する報告書を公表
	11月28日	EMMI が、EURIBOR の改革を完了
	12月4日	WG 会合 — WG の今後の検討事項について議論
	12月11日	FSMA が、EONIA の運営について、EMMI に対してクリティカルベンチマークの運営者としての認可を付与
2020 年	1月15日	国際会計基準にかかる規則の改正規則が成立 — 2019 年 9 月に IASB が最終化した改訂基準を取り込むもの
	2月6日	EIOPA が、IBOR 移行と Credit Rate Adjustment (CRA) の影響に言及するディスカッション・ペーパーを公表（コメント期限 4 月 30 日）
	2月19日	WG が、EONIA から€STR への円滑な移行のための推奨事項をまとめた報告書を公表 — 2019 年 9 月に公表した報告書において議論した論点について明確化を図ったもの
	2月27日	WG 会合 — EURIBOR のフォールバック対応に関する今後の進め方等について議論
	3月13日	WG が、清算機関のディスカウント・レートが EONIA から€STR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する市中協議を開始（コメント期限 4/17 日）
	4月7日	WG 臨時会合 — 新型コロナウイルスの感染拡大が今後のタイムラインにもたらす影響について議論
	4月17日	EUREX Clearing および LCH が、EONIA から€STR へのディスカウント・レートの切り替え時期を 6 月 22 日から 7 月 27 日に延期することを公表

	4月20日	CME が、EONIA から€STR へのディスカウント・レート of 切り替え時期を 6 月 19 日から 7 月 24 日に延期することを公表
	4月21日	WG 会合 — EURIBOR のフォールバックにかかる最終勧告の公表時期を、2020 年夏から 2021 年初めに後ろ倒しすることにつき合意
	5月4日	WG が、清算機関のディスカウント・レートが EONIA から€STR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する市中協議結果を公表 — ディスカウント・レートの変更に伴うスワップションの時価変更につき、相対で任意調整を行うべきとの推奨内容を支持する意見が多かった。
	6月16日	WG が、清算機関のディスカウント・レートが EONIA から€STR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する勧告を公表 — ディスカウント・レートの変更に伴うスワップションの時価変更につき相対で任意調整を行うこと、および、カウンターパートと早期にコンタクトを取り、方針を決定することを推奨
	7月2日	WG 会合 — ターム物€STR の算出・公表を予定する 4 社（EMMI/IBA, FTSE Russel, Refinitiv, IHS Markit）の算出方法やガバナンス体制等に関する検討状況について報告
	7月23日	ECB が、金利指標改革にかかる金融機関の準備状況に関する調査結果、および金利指標改革に備えるためのグッドプラクティスを公表
	7月24日	ECB が、€STR 複利レート of 公表等に関する市中協議を開始（回答期限：9 月 11 日）
	7月24日	欧州委員会が、重要なベンチマークが廃止等された場合に EU 圏の金融安定性を維持することを目的として、EU ベンチマーク規則の改正を提案
	9月10日	WG 会合 — EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議の内容等について議論
	9月30日	ECB が、€STR に関する IOSCO 原則の遵守状況にかかる声明を公表
	10月7日	ECB が、€STR 複利レート of 公表等に関する市中協議について、回答結果のサマリーを公表
	10月7日	欧州理事会が、欧州委員会による EU ベンチマーク規則の改正案を承認
	10月14日	WG 会合（議事未公表）
	3Q	EURIBOR 参照商品のフォールバックに関する市中協議を実施
2021 年	年末	EU ベンチマーク規則上の移行期限（①EU 域内のクリティカルベンチマークの算出者、および、②第三国の金融指標に関する規定が対象）

2022 年	1 月 3 日	調整後の EONIA が公表停止
--------	---------	------------------

【スイス】(WG 会合は年に 3 回程度開催)

2017 年	10 月 5 日	WG 会合 — SARON を RFR に特定
	10 月 9 日	Eurex Clearing が、SARON 参照 OIS を清算対象に指定
	10 月 16 日	LCH が、SARON 参照 OIS を清算対象に指定
2018 年	1 月 11 日	WG 会合 — デリバティブ・債券、および、ローン・デポジットに係るサブ WG を設置
	6 月 4 日	WG 会合 — SARON を参照する先物として 3 か月物を提言することを決定 — SARON を参照するターム物金利に係る望ましい構築方法とその理由について、全市場参加者から意見を募集〔回答期限：7 月 31 日〕
	6 月 22 日	・ WG が、3 か月物 SARON 先物に係るタームシートの推奨例を公表 ・ WG が、スイスの事業法人向けのアウトリーチのための文書（アンケート調査を含む）を公表〔回答期限：9 月 30 日〕
	10 月 29 日	Eurex が、SARON を参照する 3 か月先物を上場
	10 月 31 日	WG 会合 — 現在の市場の状況等に鑑み、SARON を参照する先物や OIS 市場に基づいて頑健なターム物金利を構築することは現状では困難と判断し、可能な限り SARON 複利をターム物金利として利用することを推奨することを決定（但し、WG は SARON デリバティブ市場の発展を注視し、将来的に状況が変化した場合には、デリバティブを用いたレートをフォールバックとするかを再検討する可能性） — 新規のリテール貸出に係るフォールバック条項の雛形について議論
	11 月 14 日	LIBOR から SARON への移行のための実務体制に関する市場参加者向けチェックリストを公表し、意見を随時募集
	12 月 17 日	FINMA が、監督対象の金融機関向けのガイダンスを公表し、LIBOR の移行に関するリスクの洗い出し状況について 2019 年 1 月以降ヒアリングを実施するほか、ストレステストで用いる金利指標を LIBOR から変更する方針であると発表
2019 年	2 月 5 日	WG 会合 — キャッシュ商品における SARON 複利の利用のためのオプションについて議論。ローン・デポジットに係るサブ WG では、キャッシュフローの確定性に応じて「前決め」か「後決め」かについて好ましい選択がなされとの見解が示されたほか、債券・デリバティブに係るサブ WG では、SARON 参照の変動利付債の発行に障害はないと結論付けた旨を報告
	4 月	SARON の運営機関である SIX(スイス証券取引所)が、各テナーの SARON 複利レートの参考値と自動計算機能を公表
	6 月 13 日	・ スイス中銀 (SNB) が、LIBOR の公表停止リスクを踏まえ、従来の 3 か月物 LIBOR 誘導目標レンジに代わり、新たに「SNB 政策金利 (SNB policy rate)」を導入

		<ul style="list-style-type: none"> — 金融政策運営において、スイスの RFR (SARON) に代表される短期市場金利を、SNB 政策金利に近い水準に維持する意向を表明 ・ WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — SARON 複利の更なる認知度向上のため、SIX に対し、SARON 複利の幾つかのテナーを提供するよう推奨すること等について、メンバー間で合意
	7 月 2 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ WG が、SARON を参照する変動利付債に関するディスカッションペーパーを公表 <ul style="list-style-type: none"> — SARON の後決め複利を利用する際、金利の参照期間と計算期間の日数を一致させ、金利の参照期間を 5 営業日前にスライドする Lookback 方式を利用することの利点が大きいと結論付け ・ WG が、金利指標改革が財務報告に与える影響について整理した文書を公表
	11 月 12 日	WG が、個人向けローンにおいて SARON の後決め複利を利用する際の選択肢に関する追加のガイダンスを公表
2020 年	1 月 21 日	スウェーデン監督当局が、SARON について、欧州ベンチマーク規則の第三国指標としての適合性を認定
	3 月 20 日	FINMA がデリバティブの移行対応等にかかるガイダンスを公表
	3 月 25 日	SIX が、SARON Compound Indices の公表を開始
	5 月 7 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — FINMA が 2 回目の Dear CEO レターを発出した旨を報告 — シ・ローンの後決め複利の算出方法について、5 日間の Lookback 方式を推奨
	9 月 29 日	WG 会合 <ul style="list-style-type: none"> — FINMA より、LIBOR エクスポージャーに関する調査結果を報告 — 後決め複利の算出方法として Lookback 方式を利用するにあたって、具体的な算出方法やフロアの取扱いについて議論
	10 月 16 日	FINMA がデリバティブの移行対応について、ISDA プロトコルへの早期の批准を推奨するとのガイダンスを公表

【米国】（ARRC 再編＜18/3 月＞後は、ARRC 会合は月に 1 回程度開催）

2017 年	6 月 22 日	ARRC 会合 — SOFR を RFR として特定
	8 月 1 日	ARRC 会合 — 新たなサブグループ（WG）設置の必要性について議論
	9 月 29 日	ARRC 会合 — 5 つの WG（市場構造、規制、ターム物金利構築、商品別、法務）を設置
	10 月 31 日	ARRC 会合 — 移行計画（Paced Transition Plan）について合意され、会計・税制に関する WG 設置がされたほか、ARRC 再編についても議論が行われた
	11 月 2 日	ARRC が、ラウンドテーブルを開催
2018 年	2 月 20 日	FASB が、ヘッジ会計目的のベンチマーク金利として SOFR に基づく OIS 金利を追加する案について、市中協議の実施を公表〔コメント期限：3 月 30 日〕
	3 月 5 日	ARRC が、第 2 次報告書を公表 — SOFR 特定の経緯、移行計画の概要、キャッシュ商品のフォールバック・移行に関する課題等について言及
	3 月 7 日	再編された ARRC が始動 — メンバーシップを拡充。既存分を含む 11 のサブグループのメンバーが確定
	4 月 3 日	NYFed が、SOFR 公表開始
	5 月 7 日	CME が、SOFR の 1 か月および 3 か月先物を上場
	7 月 9 日	ARRC が、キャッシュ商品のフォールバック条項が満たすべき原則を公表
	7 月 12 日	ARRC が、米国金融当局宛に、代替指標を参照するデリバティブ契約について追加的な規制を課さないよう協力を求めるレターを発出
	7 月 16 日	LCH が、SOFR 参照 OIS の清算を開始
	7 月 19 日	ARRC が、ラウンドテーブルを開催
	7 月 24 日	ARRC 会合 — 市中協議実施に向け、変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言等について議論
	7 月 26 日	ファニーメイが、SOFR を参照する 6 か月、12 か月、18 か月の変動利付債を発行
	8 月 29 日	FASB 理事会が、ヘッジ会計目的のベンチマーク金利として SOFR に基づく OIS 金利を追加することを暫定的に決定
	9 月 20 日	ARRC 会合

		— 市中協議、SOFR の利用促進等について議論
	9 月 24 日	ARRC が、変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書を公表〔コメント期限：11 月 26 日〕 — 今後他の商品（証券化商品、相対ローン、消費者向け商品）についても同様の市中協議を実施予定である旨付言
	10 月 9 日	CME が、SOFR 参照 OIS の清算を開始 — SOFR を PAI の算出・割引率に使用
	10 月 18 日	ARRC 会合 — 相対ローンおよび証券化商品に係る市中協議発出に向けた進捗、SOFR の流動性向上に係る進捗等について議論
	10 月 25 日	FASB が、SOFR に基づく OIS 金利をヘッジ会計目的のベンチマークとして追加する旨の会計基準のアップデート（ASU No. 2018-16）を公表 — 適用開始日は、①2018 年 12 月 15 日以降の会計年度（ヘッジ会計に係る ASU No. 2017-12 対応済みの上場企業の場合）、②2019 年 12 月 15 日以降の会計年度（それ以外の ASU No. 2017-12 対応済みの企業・団体の場合）
	10 月 29 日	ARRC が、変動利付債のフォールバック条項の文言にかかる市中協議の FAQ を公表
	10 月 30 日	ARRC が、米ドル LIBOR からの移行に関するタイムラインを公表
	12 月 5 日	ARRC 会合 — 変動利付債およびシ・ローンに関する市中協議の回答結果のほか、公表予定の相対ローンおよび証券化商品の市中協議や既存キャッシュ商品に対する法的救済措置に向けた検討要否等について議論
	12 月 7 日	・ ARRC が、相対ローンおよび証券化商品に係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書を公表〔コメント期限：2 月 5 日〕 ・ ARRC が、変動利付債とシ・ローンに係るフォールバック条項の文言についての市中協議文書に寄せられた回答を公表
2019 年	1 月 15 日	ARRC 会合 — SOFR デリバティブ・先物市場の現状、ターム物金利構築に係る課題等について議論
	1 月 24 日	IBA が、米ドル LIBOR に代わるキャッシュ商品向けの新たな指標案（U.S. Dollar ICE Bank Yield Index）に係る市中協議を公表〔コメント期限：3 月 31 日〕
	2 月 28 日	ARRC 会合 — キャッシュ商品での SOFR 利用の概要とレビュー、フォールバック条項の文言の検討に係る進捗状況等について議論
	4 月 8 日	ARRC が、財務省・内国歳入庁宛に、RFR への移行・フォールバックに係る税制上の対応について、レターを発出
	4 月 10 日	IBA が、U.S. Dollar ICE Bank Yield Index の詳細（ホワイトペーパー）をアップデートし、市中協議期限を延長〔コメント期限：5 月 31 日〕
	4 月 11 日	ARRC 会合 — ICE Bank Yield Index、変動利付債およびシ・ローンのフォールバック条項等について議論

4 月 19 日	FRB のエコノミストの試算として、SOFR を参照する先物に基づくターム物金利および SOFR の後決め複利平均の参考値を公表
4 月 22 日	ARRC が、SOFR の利用者ガイドを公表
4 月 24 日	CME が、2020 年の下半期を目途に、既存・新規のスワップ取引の PAI の算出・割引率に使用する金利を一斉に EFR から SOFR に切り替える「ビッグバン」アプローチについて討議文書を公表
4 月 25 日	ARRC が、変動利付債およびシ・ローンのフォールバック条項に係る最終的な推奨文言を公表
4 月 29 日	ARRC が、SOFR の公表開始 1 周年を記念して、SOFR 参照市場の流動性向上や SOFR への移行に向けた進捗についてまとめた文書を公表
4 月 30 日	ジニーメイが、不動産抵当証券担保債券中の SOFR を参照する変動金利トランシェに保証を提供したことを発表
5 月 13 日	ARRC が、米国金融当局宛に、代替指標を参照するデリバティブ契約に係る法的救済等を要望する追加的なレターを発出— 規制の明確化・緩和が図られる際には幅広い移行方法をサポートすることを求めるとともに、RFR 参照契約で清算集中義務の対象とならないものについては新規分も含め当初証拠金規制の適用除外とすることを要望
5 月 16 日	ARRC 会合 — 相対貸出および証券化商品のフォールバック条項等について議論
5 月 31 日	ARRC が、相対貸出および証券化商品のフォールバック条項に係る最終的な推奨文言を公表
6 月 3 日	ARRC が、ラウンドテーブルを開催 — FRB のクォールズ副議長が、FRB および CFTC 等の規制当局が、清算集中義務の対象とならない既存のデリバティブ契約について、証拠金規制の適用除外を認める内容の規制改正を含む市中協議文書を作成している旨言及
6 月 6 日	・ ARRC が、移行計画の補完として、2019 年の作業目標を公表 ・ ARRC が、4 月 8 日に財務省・内国歳入庁宛に発出したレターのフォローアップとして、具体的なガイダンスの文案を公表
6 月 19 日	FASB が、一定要件を充足する貸出・債券・リース等の契約について、参照金利が変更された場合も従来の契約が継続するものとして扱う旨の救済措置を暫定決定
6 月 24 日	ARRC が、通貨スワップ市場におけるディーラー間の取引慣行（コンベンション）に関する暫定的な勧告を公表 — IBOR が公表停止される事態に備え、リスクフリーレート（RFR）を参照する通貨スワップ市場の取引慣行を確立し、流動性を確保することを目的とするもの
6 月 28 日	ARRC が、ベンダーを対象としたワークショップを開催
7 月 10 日	IBA が、U. S. Dollar ICE Bank Yield Index のホワイトペーパーの 2 回目のアップデートを公表
7 月 11 日	ARRC が、SOFR 参照住宅ローンに関するホワイトペーパーを公表
7 月 12 日	米証券取引委員会（SEC）が、LIBOR からの移行の管理に関して 4 部署合同のスタッフ・ペーパーを公表し、各部署の観点から具体的な論点のガイダンスを提示

	ARRC が、LIBOR 参照住宅ローンのフォールバック条項に係る市中協議を開始
7 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ NY 連銀ウィリアムズ総裁スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — ターム物 RFR の構築を待たず LIBOR からの移行に即座に取り組むよう懇願 ・ CME が 2020 年 7 月 17 日に、金利スワップに使用するディスカウント・レートを現行の実効フェデラル・ファンド金利（EFFR）から SOFR に移行することを発表
7 月	FASB が、ヘッジ会計上の論点について議論
8 月 1 日	ARRC が、SOFR 参照の変動利付債の市場慣行に関する比較表を公表
9 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC 会合 <ul style="list-style-type: none"> — キャッシュ商品のフォールバック時のスプレッド調整の算出方法について評価 ・ FASB が、LIBOR からの移行にかかる会計基準のアップデート（ASU）案を公表 [コメント期限：10 月 7 日]
9 月 10 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ SEC クレイトン委員長スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — フォールバック条項の導入または他の指標への切替により早期に LIBOR からの移行に取り組むよう懇願 ・ ARRC が、7 月に公表した LIBOR 参照住宅ローンのフォールバック条項に係る市中協議の期限を 9 月 24 日まで延期
9 月 19 日	ARRC が、SOFR への移行対応に係る実務上のチェックリストを公表
9 月 24 日	<ul style="list-style-type: none"> NY 連銀ウィリアムズ総裁スピーチ <ul style="list-style-type: none"> — 期限が時々刻々と迫っているため、不断の取り組みが重要である旨を強調
9 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> 連邦住宅金融局（FHFA）が連邦住宅貸付銀行（FHLB）に対する監督上のレターを発出 <ul style="list-style-type: none"> — 2020 年 3 月末までに、2021 年末以降に満期を迎える LIBOR 参照の新規取引停止を勧告
10 月 8 日	<ul style="list-style-type: none"> ARRC の 4 月 8 日付レターを受け、財務省および内国歳入庁が Tax Relief 案を公表 [コメント期限：11 月 25 日] <ul style="list-style-type: none"> — ARRC は、規制案の公表を歓迎する旨を発表
10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC 会合 <ul style="list-style-type: none"> — IOSCO 原則を遵守したターム物 SOFR を構築するための条件についてプレゼンを実施 ・ CME が、金利スワップに使用するディスカウント・レートの SOFR への移行を 2020 年 7 月から 10 月に延期
10 月 23 日	IBA が ICE Bank Yield Index に関するホワイトペーパーにつき 3 回目のアップデート版を公表
11 月 4 日	NY 連銀が、米財務省金融調査局と共同で、SOFR 平均値（後決め複利）および SOFR インデックスの公表に関する市中協議を開始
11 月 13 日	FASB が、LIBOR からの移行にかかる会計基準のアップデート（ASU）の最終化を承認
11 月 15 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ARRC 会合 <ul style="list-style-type: none"> — レガシー契約にかかる NY 州における立法措置について議論 ・ ARRC が、変動金利型住宅ローンのフォールバック条項の推奨文言、およびこれまでに公表した 5 つの商品（変動金利型住宅ローン、相対貸出、変動利付債、証券化商品、シンジケート・ローン）にかかる推奨文言にかかるサマリーを公表

		・ファニーメイおよびフレディーマックが、2020 年 1Q に ARRC が推奨するフォールバック条項の推奨文言を反映した変動金利型 MBS (ARM) の統一証書を公表する旨を発表
	11 月 21 日	ARRC が、SOFR を参照する変動利付債の取引慣行の一覧表の別表を公表
	11 月	FRB が、監督・規制に関する報告書において、LIBOR からの移行に向けた準備状況を監督上の優先課題として追加
	12 月 3 日	ARRC 会合 — ISDA 定義集における公表停止前トリガーの扱いや、ドル LIBOR からの円滑な移行を確保する上で重要なシステムの特定状況等について議論
	12 月 9 日	米通貨監督庁 (OCC) が、半期報告書において、LIBOR からの移行に向けた準備状況に関する点検を強化する旨に言及
	12 月 23 日	ニューヨーク州金融サービス局 (NY DFS) が、監督先金融機関に対して Dear CEO レターを発出
2020 年	1 月 8 日	SEC が、LIBOR からの移行に向けた準備状況や開示の状況を 2020 年の検査優先事項として記載
	1 月 21 日	ARRC が、キャッシュ商品のフォールバックにかかるスプレッド調整に関する市中協議を開始 (コメント期限: 3 月 6 日 (当初)、3 月 25 日 (延長後))
	1 月 22 日	ARRC 会合 — (英国 WG が 1 月 16 日に公表した優先取り組み課題を念頭に) 米ドル LIBOR から SOFR への移行を促進するための具体的な勧告やタイムラインの策定余地について、議長から問題提起
	1 月 24 日	ARRC 傘下の通貨スワップに関するサブグループが、通貨スワップ市場におけるディーラー間の取引慣行に関する勧告を公表
	1 月 31 日	ARRC が、ベンダー向けの移行対応状況にかかる調査を開始するとともに、機関投資家向けの SOFR への移行に向けたチェックリストを公表
	2 月 5 日	米連邦住宅金融局が、ファニーメイおよびフレディーマックによる LIBOR 参照の変動金利型住宅ローンの買取を 2020 年末で停止すると発表
	2 月 7 日	ARRC が、清算機関のディスカウント・レートが SOFR に移行することにより影響を受けるスワップションに関する市中協議を開始
	3 月 2 日	NYFed が、SOFR 平均値 (後決め複利) を用いたターム物金利 (30、90、180 日物) および SOFR Index を公表開始
	3 月 6 日	ARRC が、米ドル LIBOR 参照のレガシー契約の取扱いにかかるニューヨーク州での立法化に向けた提案書を公表
	3 月 12 日	FASB が、会計基準のアップデート (ASU) の最終版を公表
	3 月 27 日	ARRC が、学生ローンのフォールバック条項に関する市中協議を開始 (コメント期限: 5 月 15 日 (当初)、延長後: 5 月 29 日、再延長後: 6 月 15 日)
	3 月 30 日	ARRC 会合 — ARRC の 2020 年の取り組み課題やベストプラクティス作成に向けた取り組みについて議論
	4 月 1 日	Fannie Mae と Freddie Mac が、SOFR 参照の変動金利型住宅ローン (ARM) の買取開始時期および買取条件の詳細を公表 — いずれも、Fed NY が公表する SOFR Averages の 30 日物を参照し、Fannie Mae は本年 8 月 3 日から、Freddie Mac は 11 月

	16日から買取を開始
4月2日	政府会計基準審議会（GASB）が、LIBORからの移行に関するガイダンスを公表
4月8日	ARRCがキャッシュ商品のフォールバック時のスプレッド調整にかかる暫定的な推奨内容を公表 — 過去5年のスプレッド中央値を推奨
4月17日	ARRCが、2020年の取り組み課題を公表 — forward-lookingなターム物SOFRの運営機関の選定に向けた取り組み（2020年9月まで） — SOFR参照の変動利付債、法人向け貸出、証券化商品にかかる推奨コンベンションの最終化（2020年7月まで） — 清算機関におけるPAIおよびディスカウント・レートの切り替え促進（進行中） — 各業界における事務・インフラ整備促進のためのツールの整備（進行中） — ARRCの推奨内容に沿った調整スプレッド値の公表主体の選定に向けた取り組み（2020年9月まで） — 法人向け貸出についての、修正版ハードワイヤードアプローチのフォールバック文言、コンベンション、参考資料の公表（2020年6月まで） — 学生ローン向けの推奨フォールバック文言の公表（2020年6月まで） — リテール向けのガイドラインの作成（2020年9月まで） — （NY州法における）立法措置の導入に向けた取り組み（継続中） — 税・規制・会計にかかる関係機関との協働（継続中） — 広汎かつ包括的なアウトリーチ活動の推進（継続中）
5月6日	・ARRCが、キャッシュ商品のフォールバックにかかるスプレッド調整に関する追加的な市中協議を開始（コメント期限：6月8日（当初）、延長後：6月15日） ・ARRCが、SOFR Indexの変動利付債への適用方法にかかるステートメントを公表
5月7日	・ARRCが、ベンダー向けサーベイの結果および対応期限にかかるベスト・プラクティスを公表
5月14日	ARRCが、清算機関のディスカウント・レートがEFFRからSOFRに移行することにより影響を受けるスワップションについて、取引当事者間で時価変更分にかかる任意調整を行うべきとの勧告を公表
5月22日	米財務省が、SOFR連動債の需要等の調査のため、RFI（Request For Information）を発出（コメント期限：7月6日）
5月27日	ARRCが、LIBORからの移行計画にかかるベストプラクティスを公表 — 変動利付債、企業向け貸出、個人向けローン、証券化商品、デリバティブについて、市場参加者が達成すべきマイルストーンを設定 — 米ドルLIBORの新規参照の停止目標時期（マイルストーン）については、以下のとおり設定 ・住宅ローン（本年9月末） ・変動利付債（本年12月末）

		<ul style="list-style-type: none"> ・企業向け貸出、CLO 以外の証券化商品、デリバティブ（2021 年 6 月末） ・CLO（2021 年 9 月末）
	6 月 4 日	米消費者金融保護局が、消費者および規制対象主体の LIBOR からの移行を促すため、消費者向けハンドブック、規則制定案（NPRM: Notice of Proposed Rulemaking）等を公表
	6 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ARRC が、学生ローン向けの推奨フォールバック文言を公表 ・ARRC が、シンジケート・ローン向けのハードワイヤードアプローチの推奨フォールバック文言の修正版を公表 ・ARRC が、キャッシュ商品のフォールバックにかかるスプレッド調整に関する追加情報を公表
	7 月 8 日	ARRC が、社内システム・事務プロセスの移行を支援するための手引を公表
	8 月 5 日	ARRC 会合
	8 月 7 日	ARRC が、SOFR Starter Kit を公表
	8 月 10 日	ARRC の Wipf 議長が、ARRC 全メンバーに対して ISDA プロトコル批准に向けて準備するよう強く要請するレターを発出
	8 月 19 日	ARRC が、LIBOR からの移行計画にかかるベストプラクティスを改訂 <ul style="list-style-type: none"> — ISDA 定義集及びプロトコルについて、施行までに批准することを推奨（タイムスケジュールを明記）、デリバティブのエクスポージャーが大きい場合、エスクロー方式での批准の推奨を明記
	8 月 27 日	ARRC が、相対貸出のフォールバック条項に係る推奨文言の改訂版を公表 <ul style="list-style-type: none"> — ハードワイヤードアプローチによるフォールバック条項について、ウォーターフォールの第 2 順位に単純 SOFR（複利計算なしの日次平均）を採用 — ヘッジローン向けのフォールバック条項について、フロアの取扱いを追加
	9 月 2 日	ARRC が、フォールバック時の LIBOR と後継金利のスプレッド調整値の算出・公表主体選定にかかる要件定義書（RFP）を公表
	9 月 9 日	ARRC 会合
	9 月 10 日	ARRC が、forward-looking なターム物 SOFR 公表に向けた公表主体の選定にかかる要件定義書（RFP）を公表
	9 月 11 日	ARRC が、清算機関のディスカウント・レートが EFFR から SOFR に移行することにより影響を受けるスワップションについて、取引当事者間で時価変更分にかかる任意調整を行うべきとの勧告の追加事項を公表
	10 月 9 日	ARRC が、ISDA IBOR プロトコルへの支持と批准の推奨を改めて公表。FRB が、プロトコル批准を促す Supervision and Regulation Letter (SR Letter) 20-22 を発出。
	10 月 16 日	LCH および CME が、既存・新規スワップ取引に係る PAI の算出・ディスカウント・レートに使用する金利を EFFR から SOFR に切替え
2021 年	2Q	forward-looking なターム物 SOFR の公表（2021 年半ば）
	年末まで	SOFR を参照したデリバティブ市場に基づくターム物金利の構築

【国際的な取組み】

2013 年	7 月 17 日	IOSCO（証券監督者国際機構）が、「金融指標に関する原則」（IOSCO 原則）を公表
2014 年	7 月 22 日	FSB が、「主要な金利指標の改革」と題する報告書を公表
2017 年	10 月 10 日	FSB が、金利指標改革に関する第 3 次進捗報告書を公表
2018 年	1 月 5 日	IOSCO が、指標利用者へのステートメントを公表
	2 月 1 日	ISDA、AFME、ICMA、SIFMA、SIFMA AMG が、グローバルな RFR への移行に関するロードマップ報告書を公表
	6 月 25 日	ISDA、AFME、ICMA、SIFMA、SIFMA AMG が、RFR への移行に関するサーベイ結果を公表
	7 月 12 日	・ ISDA が、IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議を公表〔コメント期限：10 月 22 日〕 ・ FSB が、RFR と RFR ベースのターム物金利構築の重要性に関するステートメントを公表
	10 月 10 日	IBA が、主要通貨の RFR について公表開始
	11 月 14 日	FSB が、金利指標改革に関する第 4 次進捗報告書を公表
	12 月 12 日	IASB が、金利指標改革が財務報告に与える影響に関して調査した結果を踏まえ、①基準設定作業に進むこと、および、②今後の動向を踏まえて速やかに理事会が対応できるよう、課題の分析作業の優先順位付けをすることを決定
	12 月 20 日	ISDA が、IBOR フォールバック時における技術的な対応方針に関する市中協議の結果を公表 — タームの調整方法については、圧倒的多数が後決め複利を支持。スプレッドの調整については、大多数が過去の平均値・中央値アプローチを支持
2019 年	2 月 8 日	IASB が、IBOR 関連改革に伴う不確実性による影響を緩和するため、IFRS 9 および IAS39 号のヘッジ会計に関するフォワードルッキングな要件を緩和する方針を暫定決定
	3 月 5 日	BCBS および IOSCO が、専ら金利指標改革の目的を充足するために行われる既存のデリバティブ契約の改定については、非清算店頭デリバティブ取引に係る証拠金規制の枠組みの適用を求められない旨の声明を発表
	3 月 12 日	FSB・OSSG が、ISDA 宛に、IBOR フォールバックに係る公表停止前トリガーの重要性等を指摘するレターを発出
	5 月 3 日	IASB が、代替金利指標への置換えの前の段階でヘッジ会計に影響を与える問題（フェーズ 1）に対応した IFRS 9 および IAS39 号の改訂基準の公開草案を公表〔コメント期限：6 月 17 日〕
	5 月 16 日	・ ISDA が、米ドル LIBOR 等のフォールバック時の調整に関する追加的市中協議を公表〔コメント期限：7 月 12 日〕 ・ ISDA が、公表停止前トリガー等について市中協議を公表〔コメント期限：7 月 12 日〕
	6 月 4 日	FSB が、キャッシュ商品における RFR の利用に関して、ユーザーガイドを公表
	7 月 30 日	ISDA が、米ドル LIBOR 等のフォールバック時の調整に関する追加的市中協議の暫定的取り纏め結果を公表
	7 月 31 日	ISDA が、Bloomberg Index Services Limited をフォールバック時における調整の算出・公表ベンダーに選定
	8 月 9 日	ISDA が、公表停止前トリガーに関する市中協議の暫定的取り纏め結果を公表

	9 月 18 日	・ 米ドル LIBOR 等のフォールバック時の調整に関する追加的市中協議の取り纏め結果を公表 ・ ISDA が、IBOR フォールバック時の最終的なパラメータ調整に関する市中協議を公表〔コメント期限：10 月 23 日〕
	9 月 26 日	IASB が、代替金利指標への置換えの事前の段階で会計報告に影響を与える問題（フェーズ 1）に対応した IFRS 9 および IAS39 号の改訂基準を最終化
	10 月 21 日	ISDA が公表停止前トリガーに関する取り纏め結果を公表 — コンセンサスが得られなかったため、今後の対応方針について、市場参加者や OSSG と引き続き議論を行っていくとの内容
	11 月 15 日	・ FSB・OSSG が、ISDA 宛に公表停止前トリガーを恒久的停止トリガーと同時に導入することの重要性等を指摘するレターを発出 ・ ISDA が、IBOR フォールバック時の最終的なパラメータ調整に関する市中協議結果を公表
	12 月 4 日	ISDA が、OSSG に対し、レターを返信 — 指標性喪失後の LIBOR の公表継続期間や、CCP の対応について明確化を要求
	12 月 18 日	・ ISDA がユーロ LIBOR および EURIBOR のフォールバック時の調整に関する市中協議を公表 ・ FSB・OSSG が、金利指標改革に関する FSB 第五次進捗報告書を公表
2020 年	1 月 30 日	IASB が、代替金利指標への置換え時に会計報告に影響を与える問題（フェーズ 2）について議論
	2 月 5 日	ISDA が、公表停止前トリガーに関する市中協議を再度実施する旨を公表
	2 月 25 日	ISDA が、恒久的停止トリガーおよび公表停止前トリガーにかかる新たな市中協議を公表（コメント期限：3 月 25 日（当初）、4 月 1 日（延長後））
	3 月 5 日	ISDA がユーロ LIBOR および EURIBOR のフォールバック時の調整に関する市中協議結果を公表
	4 月 9 日	IASB が、フェーズ 2 にかかる公開草案を公表（コメント期限：5 月 25 日）
	4 月 16 日	ISDA が、公表停止前トリガーにかかる市中協議の暫定結果を公表 — 回答者の大多数が、LIBOR について、改訂版 ISDA 定義集およびプロトコルに恒久的公表停止トリガーと公表停止前トリガーを同時に設定することに賛同
	5 月 14 日	ISDA が、恒久的停止トリガーおよび公表停止前トリガーにかかる新たな市中協議の結果を公表 — 回答者の大多数が、LIBOR について、公表停止前トリガーと恒久的公表停止トリガーを、ISDA 定義集の改訂版およびプロトコルに一律に導入することに賛同
	7 月 1 日	FSB が、「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がグローバルな金利指標にもたらす影響に関するステートメント」を公表 — コロナ禍においても、引き続き、「2021 年末までに LIBOR への依存から脱却すべき」との見解を維持する旨を強調
	7 月 9 日	FSB およびバーゼル委が、代替金利指標への移行に向けた監督上の論点に関する G20 宛ての報告書を公表
	7 月 21 日	Bloomberg Index Services Limited が、フォールバック・レートおよびスプレッド調整の公表を開始
	8 月 27 日	IASB が、フェーズ 2 に対応した IFRS 第 9 号、IAS 第 39 号、IFRS 第 7 号、IFRS 第 4 号、IFRS 第 16 号の改訂基準を最終化

	10 月 9 日	ISDA が、10 月 23 日に IBOR フォールバック・サプメントを公表するとともに、IBOR フォールバック・プロトコルの批准を開始（2021 年 1 月 25 日に発効）する旨の声明を発出
	10 月 9 日	FSB が、ISDA プロトコルへの広範かつ早期の批准を推奨するとのプレス・リリースを公表
	10 月 16 日	FSB が、「LIBOR のグローバルな移行に関するロードマップ」を公表
	10 月 23 日	ISDA が、IBOR フォールバック・サプメントを公表するとともに、IBOR フォールバック・プロトコルの批准を開始
2021 年	1 月 25 日	改訂版 ISDA 定義集およびプロトコルの発効

<リンク集>

【英国】

Sterling RFR WG	https://www.bankofengland.co.uk/markets/transition-to-sterling-risk-free-rates-from-libor
BOE	https://www.bankofengland.co.uk/
PRA	https://www.bankofengland.co.uk/prudential-regulation
FCA	https://www.fca.org.uk/ https://www.fca.org.uk/markets/libor
LCH	https://www.lch.com/home
LSE	https://www.londonstockexchange.com/home/homepage.htm
ICE	https://www.theice.com/index
IBA	https://www.theice.com/iba
EIB	http://www.eib.org/en/index.htm

【EU】

WG on euro RFR	https://www.ecb.europa.eu/paym/initiatives/interest_rate_benchmarks/WG_euro_risk-free_rates/html/index.en.html
ECB	https://www.ecb.europa.eu/home/html/index.en.html
欧州委	https://ec.europa.eu/commission/index_en
EMMI	https://www.emmi-benchmarks.eu/

【スイス】

NWG	https://www.snb.ch/en/ifor/finmkt/fnmkt_benchm/id/finmkt_reformrates
SNB	https://www.snb.ch/en/
FINMA	https://www.finma.ch/en/
SIX	https://www.six-group.com/exchanges/index_en.html
Eurex	http://www.eurexexchange.com/exchange-en/
Eurex Clearing	http://www.eurexclearing.com/clearing-en/

【米国】

ARRC	https://www.newyorkfed.org/arrc
NYFed	https://www.newyorkfed.org/
FRB	https://www.federalreserve.gov/default.htm
FASB	https://www.fasb.org/home
CME	https://www.cmegroup.com/
ファニーメイ	http://www.fanniemae.com/portal/index.html
ジニーメイ	https://www.ginniemae.gov/pages/default.aspx

【国際】

IOSCO	https://www.iosco.org/
BCBS	https://www.bis.org/bcbs/index.htm
FSB	http://www.fsb.org/ https://www.fsb.org/work-of-the-fsb/policy-development/additional-policy-areas/financial-benchmarks/
ISDA	https://www.isda.org/
IASB (IFRS)	https://www.ifrs.org/projects/